

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年4月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102500
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ西陵
所在地	鹿児島県鹿児島市西陵五丁目12番4号 (電話) 099-282-2497
自己評価作成日	令和4年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングの大きな窓より光が良く入り、職員、利用者共に明るい雰囲気ホームである。また、母体である田上記念病院や西陵訪問看護ステーションによる医療連携加算をとっており、医療に対しての連携やご家族や利用者様の希望に応じて看取りを行っている。また、利用者を人生の先輩として尊敬し、時には家族のように接し、利用者が安心し、穏やかに生活が送れるように支援を行っている。また、利用者中心のケアに心掛け、利用者の「出来ること」を伸ばし、一緒に家事参加やレクリエーションなどを行うことにより、利用者の「出来ること」を一つでも多く見つけていくことに力を入れている。また、職員の入れ替わりがほとんどなく、信頼関係の構築もできており、利用者、ご家族共に安心して過ごしていただいている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は法人の老人保健施設やグループホームと隣接しており、災害時の協力体制が構築されている。
- ・町内会や地域まちづくり協議会に加入している。町内会の行事は自粛中であるが福祉の集いでグループホームの紹介や法人の3グループホーム合同で石けんを作り配る等の交流をしている。また、コロナ禍であるが感染対策を徹底し介護学生の実習を受け入れ、学ぶ場を提供している。
- ・協力医療機関とはホットラインによる24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・職員は利用者がしたいこと、できることを一緒に行動し、レベルに応じた対応をしている。また、家庭的な環境で明るく、笑顔で過ごせるよう、納得されるまで関わっている。
- ・管理者は職員の意見や提案・相談等を聞き、対応している。また、職員の資質向上を図るため研修受講の情報提供し、資格取得を支援してサポート体制もある。職員同士も意見交換ができ、働きやすい環境作りに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をホール等に掲示し毎朝唱和することにより理念の共有を行い、全職員が利用者が安心して生活できるよう支援していくことを念頭に置いている。	理念は玄関やエレベーター・ホールに掲示し、パンフレットにも掲載している。理念を毎朝唱和している。利用者のできること・したいことを尊重し、実践に繋げている。毎年個々の目標を振り返り、次年度の目標に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会や西陵まちづくり協議会に参加している。コロナ禍により日常的な地域との交流は行えていないが、コロナが終息した際は文化祭、お祭り、運動会などに参加し交流を図りたい。	町内会や地域まちづくり協議会に加入し、会議に参加している。地域行事は自粛中であるが福祉の集いでグループホームの紹介や合同で石けん作りをしている。感染対策を徹底し介護実習生を受け入れている。日常的に挨拶の交流をしている。地域の相談事には応じている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍により地域との交流が出来ていないが、施設への問い合わせの電話や地域の方の相談等は随時受け付けており、その都度相談や対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ禍により運営推進会については職員と利用者のみで行っている。運営推進会議の議事録を送付することにより、ホームの現状や行事活動の報告を行い意見を伺うことでサービスの向上に活かしている。</p>	<p>コロナ禍で会議は職員と利用者のみで定期的に行っている。事業所の運営や入居者状況、行事報告・今後の予定等を話し合い、議事録を外部の委員へ手渡しや郵送で報告し、意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者とは直接出向いて報告や相談を行い連携を図っている。また市主催の研修会やその他研修に参加し、事業所間の情報交換にも努めている。</p>	<p>市担当者とは、窓口にて、書類更新やホームの状況報告・難しい事例の相談の助言を貰う等、日頃から連携を図っている。市主催の研修会ではウェブ研修に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>月に一度のミーティングなどで身体拘束の確認を行っている。また身体拘束を行わないケアの研修なども実施、職員間で情報交換している。</p>	<p>法人主催の研修会や事業所で年2回身体拘束廃止委員会を実施しマニュアルを基に研修を行っている。毎月ミーティングで身体拘束の有無を確認し、スピーチロックを含め拘束しないケアの検討や職員間で情報交換し、ケアに関わっている。日中の玄関施錠はせずセンサー作動はあるが、外出したい様子の場合見守り支援や一緒に散歩している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルの作成や虐待についての研修を行っている。職員間で声掛けストレスにより虐待に繋がらないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を通して権利擁護に関する制度について勉強している。現在制度を利用されている利用者様はおられないが、必要に応じて活用できるように支援を行っていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族からの要望などを聞き、説明を行っている。ご家族に理解いただけるよう分かりやすく丁寧に話をしている。利用者からの質問にも分かりやすいように丁寧に話をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族からの意見、利用者からの要望などはご家族や利用者とは話し、職員間で共有し、管理者を投資手運営に反映させている。	利用者からは日常の関わりの中や入浴・レクリエーション・お茶・夜間帯のテレビ視聴時に意見や要望を聞いている。家族からは窓越し面会・透明シートカーテンを活用しての面会・電話等で意見を聞く機会を設けている。毎月の便りで写真と暮らしの様子を郵送で報告している。意見や要望は職員間で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者に対して随時意見交換を行い、管理者と代表者が協議し運営に反映させている。</p>	<p>管理者は毎月ミーティングや日々の関わりの中で意見や提案を聞いたり、相談等にも対応している。勤務体制の改善やスライディングシートの購入・車椅子で体重測定できる用具の作成等でケア時の負担軽減に繋がりを、働きやすい環境作りに努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は職員の勤務状況や職員の仕事内容を把握し働きやすい環境を作っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の情報を管理者より連絡があり、研修費用が必要な場合は法人負担で研修を受けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修などを通して他の同業者などの交流する機会があり参加することで自身のホームに活かせることがありサービスの向上に繋がっている。内容をミーティングなどで紹介し、情報共有を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の困りごとの確認をし不安を取り除けるように取り組んでいる。要望に関しては職員間で共有している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ホームに入居予定で連絡があった際等説明を行っている。家族からの困りごと、要望、不安などを聞き、安心できるように説明を行い、ご家族との信頼関係ができるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人家族の様子確認を行い必要に応じて往診を含めいろいろなサービスを提供できるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員を入居者の方々は家族のように生活し家族の一員のように色々役割を持ち関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族からの話をよく聞きご家族の不安を取り除き本人のつながりを保つ。ご家族、職員を共に支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍により面会を行えていないが、ご家族・友人・知人等からの電話など関係性が継続できるように支援している。コロナ終息時は馴染みの人や場所との関係を支援していく。</p>	<p>コロナ禍の為窓越し面会や玄関で透明シートカーテンを活用しての面会、ビデオ電話や電話の取り継ぎ等で関係が途切れないよう支援をしている。訪問理美容を活用し、個別での買い物や車中から墓参り、個別にドライブ支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人になり孤立をすることがないように職員が声掛けしている。レクリエーション活動など皆様に参加できるものを行うなど配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約後の様子や契約後の経過について他サービスの紹介など、今後の事についてもご家族、本人と話をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人からの話を聞き希望、意向に沿えるように検討している。ミーティングで職員間でも話をし検討し、職員全体で把握するように努めている。	思いや暮らし方の希望などを、入浴やレクリエーション・お茶・夜間帯等で話されることが多い。困難な場合は生活歴を重視し表情や仕草・声のトーンの変化を職員間で話し合い、家族とも相談し、本人の思いに添えるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を把握し本人に負担にならないように馴染の暮らし方や環境を整えている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝のバイタルチェック時に心身状態の把握も一緒に行っている。職員間で共有することにより現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人が暮らしていくための課題を把握し、ご家族にも確認し、職員間で課題にしたカンファを行いチームとして同じ方向を向いたプラン作りを行っている。	本人や家族・関係者に意見を聞き、職員のケアカンファレンスを基に主治医の意見、訪問看護師の意見を入れて介護計画を作成している。毎月のモニタリング、6ヶ月毎に見直し、状況が変化した場合は見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日様子を職員間で把握している、一日の気づきを必ず記入し職員間で共有し、ミーティングやケアカンファを通してプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問理容、訪問マッサージ、歯科往診、訪問看護ステーションなどの活用を本人やご家族の意向を伺い対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為、外出できず地域資源の活用ができていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	受診はご家族、本人が理解し納得されるよう主治医との関係性を築いている。専門医への受診等もご家族の希望により受診できるように支援している。	本人・家族の希望で協力医療機関が主治医となっている。月1回の定期受診は職員同伴で支援している。週1回訪問看護で健康管理をしている。必要時は歯科の往診もある。入居前からのかかりつけ医への受診は家族対応である。ホットラインによる24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回訪看が来所、気づき、質問、疑問などを来所の際に報告状態悪化時など訪看と連携を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際には入院先に情報提供し、こまめに病院やご家族と連絡を取りながら入院の経過やご本人の状態などをお聞きしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針を早い段階から説明することにより、ご家族とご本人の意向とすり合わせせることで方針を共有し希望に沿った施設、病院の紹介、主治医や訪問看護ステーションと連携しご家族、ご本人の希望があればホームでの看取りも行っている。</p>	<p>重度化の対応と看取り介護に関する指針が有り、入居契約時に説明し同意書を貰っている。重度化した場合、早い段階で主治医の説明が有り、家族・管理者・訪問看護師が話し合い同意書を貰っている。家族の協力もあり看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時には事業所のマニュアルに沿ってホットラインや訪問看護へ連絡を取り対応している。また、</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間帯を想定し年2回の避難訓練と年一回の地震対応の避難訓練を行い、全職員が避難方法などしっかりと身につけている。また、周りの施設とも連携し応援をもらう体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを基に年2回消防署の指導の下、昼夜想定で地震発生後の火災発生・避難訓練・消火訓練を実施している。自主訓練では玄関出口までの避難誘導訓練を行っている。隣接する法人関連施設や地域住民の職員も多く協力体制を構築している。業者による火災通報装置や火災探知機などの点検があり、使用法の再確認を行っている。備蓄は米・タンク貯蓄の水・カップ麺・缶詰・乾麺等がある。カセットコンロや懐中電灯等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人の人格を尊重し、プライバシーに十分に配慮し、ご本人を人生の先輩として尊敬した言葉かけや対応を行っている。また、職員間で確認しあっている。</p>	<p>年1回接遇マナーや人格尊重、スピーチロックについての研修会を実施している。入室時はロックする、入浴や排泄時の誘導は声掛けを工夫したりドアは閉める、希望があれば同性介助等、羞恥心に配慮し、利用者の特性に応じた声かけや対応をしている。呼称は希望に応じて対応し、更衣の準備等も選択できる働きかけをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人の自己決定が出来るように視線を下ろしもの高さを合わせご本人の言葉が出やすいように配慮している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人のペースを尊重し職員の都合を優先するのではなく、一人ひとりペースを大切に生活していただいている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ヘアカットに来所していただき希望を聞きながらカットしていただいている。日々その方の好みに合った服装などの支援に心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は職員が入居者様の好み、季節等を参考に作成している。調理参加や配膳、下膳、お盆吹きなど一人一人に今できることをお願いしている。</p>	<p>職員が1ヶ月単位で入居者の好みや旬の食材で献立を作成している。食形態は状態に応じてミキサーや刻み食・お粥や普通食で提供したりテイクアウトも取り入れている。看取り期では状態に応じて味付けの変更や代替え・食べたいものを提供している。誕生日は職員の手作りケーキ・行事食のちらし寿司・手作りのおせち料理等、食事が楽しみとなるよう工夫している。下準備のもやしの根切り・配膳・お盆拭き・食器の片付け等、職員と一緒にしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量を記録することで健康状態が把握できるようにしている。また、食事形態の工夫や好みの飲み物などの提供により栄養、水分量の確保を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後にひとり一人の状態に応じた支援方法で口腔ケアを実施している。拒否の無いように声掛けに工夫しながら実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレでの排泄を基本に支援している。尿意・便意の無い方は時間で声かけしトイレ案内を行っている。	排泄チェック表で個々のパターンを把握して、利用者の特性に応じて声かけを工夫し、日中は全員トイレでの排泄支援をしている。個別に応じて夜間はポータブルトイレでの対応支援もある。排泄用品はリハビリパンツにパット、おむつ等個別に応じて使用しているが、パット汚染が減少したり、便秘傾向の場合はオリゴ糖飲用で便秘解消に繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方にはオリゴ糖を飲んで頂いたり、繊維の多い食事提供を行ったりと便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基本実施している。入浴の時間、順番等工夫し楽しめるように支援している。	基本は週3回の午前中の中の入浴支援であるが、希望により午後からの支援や同性介助等、状況に応じて対応している。入居者同士で入浴したり、季節のゆず湯でも楽しめるよう支援している。健康状態に応じて清拭や足浴支援もある。拒否がある場合は声掛けの工夫や職員交代・友達との入浴の提案等をしているが無理強いはしていない。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人のタイミングに合わせて休息の時間を設けるようにしている。部屋の採光、温度等工夫しよく眠れるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ミドリ薬局の薬剤師より居宅療養管理指導を行っていただき、薬の変更や追加があった場合は副作用等の説明を受け全職員へ申し送っている。また、服薬支援と症状の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人により楽しみ事ことなるが個性を生かし日常生活にはりがあるように支援している。気分転換などは職員が対応し、個人の状況をみながら支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に沿ってドライブなど実施している。また、コロナ禍により季節ごとの外出活動は出来ないがコロナ終息時は花見やそうめん流しなどの外出ができるように支援する。	コロナ禍の為、自粛しているが、日常的には近隣の散歩や日光浴・窓を開けての外気浴・近場の公園で花見・個別ではドライブと車窓からの墓参り・買い物・近くの神社で初詣等、支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理のできる利用者は現在おられないが、買い物時は預り金より支払い、買い物に同行している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙のやりとり等支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下に花や飾り付けを行うことにより、季節感を感じるような環境作りを行っている。また、音に対して等も個人の好みもある為、過ごしやすく居心地の良い空間を提供している。	ホールは空気清浄機や加湿器を配置し、窓は常時開放し、換気扇も作動している。カーテンで採光を調整し温・湿度計もあり、エアコンで調整している。テレビやラジオがあり、ソファも配置し、壁には手作りの作品や季節毎の塗り絵等が掲示している。昼のスペースでは洗濯物をたたんだり、腰かけたりして、利用者の其々の思いで居心地よく過ごせる空間を提供している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では思い思いの席につき窓で外を眺める方、テレビを見られる方、お話をされる方など個々に対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた物や好みの物を置いたり。また、ご本人が使いやすい位置に変更し、歩行、車椅子の移動動線の確保を行っている。	居室はベッド・タンス・洗面台・エアコンが設置されている。寝具類は持ち込みである。使い慣れたタンス・机・椅子・ソファ・仏壇・位牌・テレビ・ぬいぐるみ等を持ち込んで、居心地よく過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、浴室、トイレなど手すりを取り付けてあり、立位や移動の自立に繋がっている。また、トイレや浴室、居室に分かりやすいように、表札を取り付けている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない